

山口県優良建設工事表彰

旧事務所に
有終の美 地元・ナルキが優良工事受賞

菅野・平瀬ダム統合管理事務所

菅野・平瀬ダム統合管理事務所（岩国市錦町、小倉和久所長）は11月18日、同事務所で「2025年度山口県優良建設工事表彰」に係る表彰状授与式を開催した。同事務所の前身である錦川総合開発事務所が、閉所を控

えた23年度下旬に発注した工事において、地元のナルキ（岩国市、山木大介社長）が優良建設工事を受賞。この日は山木社長と、現場代理人・主任技術者を務めた加藤盛将氏が出席し、旧事務所の有終の美を地元企業の栄誉が飾った。

平瀬ダム錦川総合開発事業4号林道付替道路工事第2工区



受賞を喜ぶ加藤氏、山木社長、小倉所長

工事場所は岩国市錦町広瀬地内。工事概要はEPルートパイル、軽量盛土（EPS）。小倉所長から表彰状を手渡された山木社長は「地元の錦町に本社を置く弊社が、役目を終えた錦川総合開発事務所の発注工事で受賞できたことは非常に感慨深く、光栄に思う。ICT活用など積極的に取り組んだ姿勢

を評価していただいた」と謝辞を述べた。その上で、「ひとえに地域住民や関係各所の理解と協力のおかげ。完成した平瀬ダムが暮らしを守り、生まれ変わった猿飛湖が憩いの水辺として親しまれ続けることを願う」と、地元企業ならではの熱い思いを語った。

講評に立った小倉所長は「急しゆんな地形の直下で命綱を必要とする過酷な現場環境において、徹底した安全管理で無事故完遂を成し遂げた現場管理能力と高い技術力は、他の模範となるもの」と高く評価。「地域の安全・安心を支える建設業の役割は極めて大きい。今後も良質なインフラの整備・保全の担い手として、さらなる技術の研さんと業界の発展に貢献してほしい」と結んだ。